天（谷折り）

257.5mm

182mm

Topic

一般質問

区立児童相談所（児相）の設置について

平成28年の児童福祉法改正により、東京都が設置している児童相談所を東京23区が設置できることとなり、令和2年度に3区（世田谷、荒川、江戸川）が開設しました。杉並区も区立児童相談所の開設を表明し、準備を進めています。悲惨な児童虐待事件は後を絶たず、児相の移管をきっかけに虐待の未然防止や早期発見につながる改革を進める必要があります。一方で、不当な一時保護によって、生後2ケ月から1年3ケ月の愛着形成期を親子分離で過ごしてしまった事件が起きてしまいました。区児相の設置スケジュールとしては時期尚早でありながら、このことにいてもたってもいられず、区児相のあり方を問いました。

松本：区児相を設置し、これまで東京都杉並児童相談所が担ってきた、一時保護をはじめとする法的権限による介入を移管することのメリットは。

子ども家庭部長：区が一時保護をはじめとする法的権限を持つことにより、都区間での調整がなくなることから、これまで以上に迅速に対応できるようになり、虐待が深刻化・重篤化する前の早期の段階で一時保護を図ることが可能となる。また児童相談所、一時保護所職員が区の職員となり、子ども家庭支援センター（子家センン）との連携が緊密となることで、在宅生活を見守る上で必要なサービスの選択が速やかにできるようになり、適切な時期での家庭復帰につなげやすくなる。

松本：一時保護の委託先である里親を増やすための取組は。

子ども家庭部長：広報すぎなみや区公式ホームページにおいて、里親制度の周知を実施しているほか、より多くの方に里親制度を知っていただくために、里親経験者による養育家庭体験発表会を、都児相と共同で開催している。

松本：区児相設置までに必要な児童福祉士*3を確保することは可能と捉えているか、児童福祉士1名あたり40ケース相当の業務業は実現されることになるか。

子ども家庭部長：人材の確保について、今後児相等での経験を求める採用試験の活用についても検討する必要がある。（右下へ続く）

養育家庭になりませんか

――問い合わせは、杉並子ども家庭支援センター☎5929-1902へ。

養育家庭（里親）制度は、さまざまな事情で親と一緒に暮らすことのできない子どもたちを一定期間家庭に迎え、一緒に生活して養育する制度です。

親の入院などで短期間の預かりが必要な場合もあります。幼稚園・保育園・学校に通い続けるためには、学区内の養育家庭でお預かりいただけることが理想です。全小学校区に養育家庭の登録ができるよう、ご協力をお願いします。

担当ケース数については、児童相談所における重篤化する前の早期対応と、子家センや保健センターによる虐待の未然防止の対応などの取組をそれぞれ充実させることにより、虐待対応ケースを減らすことで対応可能な業務量になると考える。

松本：兵庫県で親の虐待を疑い、子どもを一時保護した事案が不当として市長が謝罪したケースがあった。区児相の設置にあたっては頻回に審議できる少数かつ精鋭の審議会を同時に設置すべきと考えるが見解は。

子ども家庭部長：このようなケースの審議は頻回に行われる必要があることを踏まえ、児童福祉審議会の組織のあり方を十分検討していく。

松本：区児相の設置に向けた所管の意気込みは。

子ども家庭部長：子ども家庭支援センターと児童相談所が二元的に対応できる体制を構築し、子どもの命を守るために必要な児童虐待対策の実現に向け取り組んでいく。

*3政府の児童虐待防止対策に関する関係府省庁連絡会議が策定した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」では、2022年度には児童福祉士の配置について、人口3万人あたり1名とし、児童福祉士1人あたりの業務量を40ケース相当とする、としている。杉並区の人口は57万人余で、杉並区では20名の児童福祉士が必要となる

*一般質問では、その他に「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等に対する区の対応について」の質問も行いました。

▲子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを着用して質問しました

Topic

総務財政委員会（11月27日）

議案第93号　杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例

コンビニの多機能端末による証明書交付サービスで、戸籍証明書と戸籍の附票の写しを新たに取得できるようにするための条例改正

松本：利便性が向上すると思われるが、行政事務の効率化の観点、また感染症対策の面で今回の施策をどのように評価しているか。

区民課長：コンビニの多機能端末で職員の手を介さずに発行できるのは行政事務の効率化に繋がる。転出入やマイナンバーカード申請等で混雑している窓口を経由することがなく、窓口の混雑緩和は3密の回避にもなり、感染症対策にも意味がある。

松本：先の決算特別委員会では、渋谷区のLINEでの申請と郵送による住民票の写しの交付を紹介した。今後も証明書交付に限らずICTを活用し、区民サービスの利便性向上になお一層意を用いていただきたい。（左上へ続く）

議案第97号　令和2年度杉並区一般会計補正予算（第9号）

松本：上井草北自転車駐車場の区有地に今後認可保育施設の設置を予定しているということだが、上井草地区の認可保育所の整備状況、保育需要と保育施設の供給は現状どのような状態か。

保育施設担当課長：当該地区は認可保育所が6ケ所、認証が2ケ所、定員は544名。1、2歳で定員を上回る需要が予測されており、昨年も入所調整に苦慮した地域。

松本：古紙・びん、缶回収で3300万円余、プラスチック製容器包装回収で2100万円余となっているが、それぞれどの程度回収量が増えているのか。

ごみ減量対策課長：4月はそれぞれ3割程度増えていたが、4月から10月までの平均では1～2割増、次第に増加は落ち着いてきている。

杉並区が待機児童0を維持するために、地域ごとの需要の把握が重要

Topic

総務財政委員会（12月9日）

議案第106号　令和2年度杉並区一般会計補正予算（第10号）

松本：先に保健福祉委員会で質疑があったが、感染者の症状別内訳や病床使用率などの点について情報公開を拡充することは重要であり、重ねて要望する。また区内感染情報をインターネットから取得することが難しい方向けに、広報すぎなみ等をさらに活用することも求める。

松本：アメリカの製薬会社が開発しているワクチンは、マイナス70度前後で保管する必要があるということだが、区では保管可能な冷凍庫を持っているか。

健康推進課長：マイナス70度前後で保管できる冷凍庫は旧衛生試験所に中型2台、小型3台あるが、検体の保管用途などで使用しておりワクチンの保管はできない。

松本：ワクチン接種の実施主体である市区町村間でそのような冷凍庫が取り合いになる可能性があるので、情報収集を開始してほしい。（右下へ続く）

声の区議会レポート

視覚障がい者の方からご要望をいただき、YouTubeに音声を掲載しました。スマートフォンのカメラ機能等でQRコードを読み込み、聞いていただけますと幸いです。

杉並区議会で発行している「区議会だより」も、「声の区議会だより」を発行しています。

本レポートの朗読

声の区議会だより

松本：今回の補正事業は財政調整基金を活用するものだが、予算成立後の残高は。

財政課長：財政調整基金の残高は約404億円となる。

*その他、杉並区行政財産使用料条例等の一部を改正する条例、杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、杉並区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての審議、報告に対する質疑を行いました。

*文化・スポーツに関する特別委員会でも報告に対する質疑を行いました。全ての議事録は1月中には杉並区議会ホームページで公開される見込みです。

オンラインタウンミーティングを開催します！

第2回のオンラインタウンミーティングを、1月31日に開催いたします。
以下のQRコードからお申込みの上、ぜひご参加ください！（参加無料）
最新の情報はTwitterでお届けしています。

▲お申込みはこちら　▲Twitterはこちら

（前回のオンラインタウンミーティングの様子）

ご意見・ご要望ハガキ

キリトリ線に沿って切り抜き、ご投函ください。

キリトリ

郵便はがき

料金受取人払郵便

荻窪局承認 2187

差出有効期間 令和4年1月4日まで

（切手不要）

1678790

杉並区荻窪 4-21-8-301

松本みつひろ事務所　行

キリトリ

左

右

地